



竹林

白河市立五箇中学校だより No.42

発行 令和4年2月10日
発行責任者 校長 菅野 靖



コロナ禍のため第2回生徒会総会をオンラインで実施



【3年生は教室で参加】



【多目的ホールでの本部役員の運営】



【1年生は教室で参加】

2月4日（金）に新生徒会役員の運営で、第2回生徒会総会がオンラインで開催されました。新役員となり、初めての生徒会総会が従来型の対面方式ではなく、オンラインとなり、準備や運営で苦労したところが多かったかと思われませんが、生徒会役員を中心に無事やり遂げることができました。これからの学校教育の中でタブレットを活用した授業や行事、家庭学習との連携など、DX（デジタルトランスフォーメーション）が求められます。今回の生徒会行事は、コロナ禍の状況でデジタル技術を活用し、工夫して直面する課題を解決しながら目的を果たす素晴らしい活動であったと思います。



【校長室より挨拶】

今年1年間の生徒会活動がどうであったかを振り返る大切な会でしたが、今年度は「挑戦～恐れるな！！可能性のその先へ～」というスローガンのもと活動してきました。コロナ禍の中での活動になり、例年通りに活動できなかった取組もありましたが、全校生で協力し、工夫しながら挑戦できた行事もありました。少しでも今年以上に良い活動になるよう、反省の中で「明るいあいさつや元気な返事」が挙げられ、自分だけでなく学校全体が楽しいと思える空気や雰囲気大切にしていける必要があるなど意見が出ました。今回協議された内容をよく踏まえた上で、来年度の活動を検討し、新しい五箇中学校へと導いてくれることを期待しています。

校旗引き継ぎ式を挙行

新旧生徒会長による伝統ある校旗の引継ぎ

生徒会総会が終了した後、長い歴史と伝統がある五箇中学校の校旗が生徒会長の鈴木那奈さん（3年）から新生徒会長の小松直樹さん（2年）へと引き継がれました。今年度行われた「スポーツフェスティバル」や「結城祭」、「中体連大会の壮行会」や「生徒会立会演説会」などは、生徒の皆さんがコロナ禍でも工夫しながら取り組み、全校生の友情や絆を深める素晴らしい行事となりました。3月には1、2年生が3年生の卒業を祝い、感謝の気持ちを伝える「3年生を送る会」が行われます。先輩への感謝と伝統を引き継ぐ強い意志が伝わる行事になるよう願っております。来年度も今年以上に充実し、満足できる生徒会活動になるよう期待をしています。



【旧生徒会長から新生徒会長へ】

全校朝の会

全校朝の会もオンラインで実施し、表彰も映像で配信

2月7日（月）の全校朝の会もタブレットを使い、オンライン集会の形で実施しました。集会を運営する生徒会役員は、各学級から「Google Meet」で映像を配信しながら進行をします。校長の話や表彰は校長室で同様に映像を配信し、全校生はタブレットにより教室で映像と音声を視聴します。コロナ禍で密を避ける感染予防として、とても有効な対策であると感じました。



【表彰の様子を校長室から配信】

【第3回芭蕉白河の関俳句賞 ジュニアの部 神野紗希 選 奨励賞】

○1年 古山大貴さん「雲一つなき空の上ツバメ飛ぶ」

○3年 児玉愛花さん「夏が来た あっという間に 日焼けした」